

令和7年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	10	議席 番号	5	氏名	赤池弘源 議員	1 / 2	
発言項目				要 旨		答弁者	
1	木育による子育て支援について		<p>自治体は、少子化対策として子育て環境の充実と地域資源の活用を推進する責務がある。市長が令和7年度施政方針の中で、新生児のいる家庭への市内間伐材を活用した写真立ての贈呈や児童館などへ木製玩具の配置を行うとしている。これはまさに「ウッドスタート宣言」をしているようなものである。「ウッドスタート宣言」は、地元産の木材を使用した木材玩具を新生児に贈呈する取組であり、こどもの健全な成長を促進するとともに、地域の林業や木工産業の活性化に寄与するものである。したがって、富士宮市は「ウッドスタート宣言」を行い、子育て支援と地域活性化を同時に推進すべきであると考え、以下伺う。</p> <p>(1) 子育て環境の充実を図るため、木製玩具はこどもの感性や創造性を育む効果があり、温かみの中に安全性や安心感を与えてくれる素材として親しまれている。これにより、子育て家庭の満足度向上が期待できると思うがいかがか。</p> <p>(2) 地元の木材を活用することで、林業や木工産業の需要が高まり、若者がデザインや素材から関心を持つきっかけとなり、地域産業の活性化につながると思うがいかがか。</p> <p>(3) 他の自治体の成功事例として、既に「ウッドスタート宣言」を行った自治体では、地域と企業の協働により、地産地消の木製玩具を通じた「木育」が推進され、地域の魅力向上に寄与している。これらの点を踏まえ、「ウッドスタート宣言」の導入は、少子化対策と地域振興の両面で効果的な施策であると思うがいかがか。</p> <p>(4) 自然と近づく知恵を絞り、木材を取り入れる努力をする意思を公式に表明する「ウッドスタート宣言」をする考えはあるか。</p>				市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	防犯フィルム設置補助金について		<p>安全・安心に暮らせる犯罪のないまちづくりは、自治体の重要な責務である。防犯フィルムの設置は、窓ガラスの強度を高め、侵入犯罪の抑止に効果的である。したがって、自治体は防犯フィルム設置に対する補助金制度を導入すべきと考え、以下伺う。</p> <p>(1) 地域の安全性向上のため、防犯フィルムは、窓ガラスの破壊を困難にし、侵入犯罪の抑止効果が期待できると思うが、窓ガラスの破壊による被害について富士宮警察署とどのように連携を取っているか。</p> <p>(2) 防犯フィルム設置は、犯罪抑止のほか、地震によるガラスの散乱防止による避難通路の確保にもつながり、防災面からも効果が見込めるが、市民への周知・理解促進をどのように行っているか。</p> <p>(3) 他の自治体の成功事例として、既に防犯フィルム設置に対する補助金を導入している自治体では、犯罪件数の減少や住民の安心感向上といった成果が報告されているが、当市としてはどのように考えるか。</p>				市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長

令和 7 年 2 月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	10	議席 番号	5	氏名	赤 池 弘 源 議員	2 / 2
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
3	富士宮市と自治会活動の在り方について			<p>地域コミュニティの活性化は、市民生活の質向上と安全・安心なまちづくりに不可欠である。近年、自治会離れが進行しており、自治会加入率低下や活動の停滞がみられる。市は、自治会活動への理解を深める施策と、市からの積極的な支援・働きかけを強化すべきと考え、以下伺う。</p> <p>(1) 自治会活動のデジタル化支援について。 総務省の報告書では、災害時における安否確認、電子回覧板による情報伝達の速達性の確立など様々な地域活動のデジタル化が自治会の持続可能性を高める手段として挙げられている。デジタル技術を活用した活動支援の今後の計画・課題について伺う。</p> <p>(2) 自治会未加入者への情報提供と参加促進について。 自治会未加入者に対して、自治会活動の意義やメリットを伝える広報活動を強化することが必要と考える。市の広報紙配布状況と富士宮市のLINE登録者数の推移について伺う。</p> <p>(3) 自治会と行政の連携強化について。 自治会と行政が定期的に意見交換を行い、地域課題の共有や解決策の協議を行う場を設けることで、相互理解と協力体制を強化できる。自治会からの提案を積極的に取り入れる仕組みづくりを検討できないか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長